

■ データ $(x_1, y_1), (x_2, y_2), \dots, (x_n, y_n)$ に対して

$$\left(\sum_{j=1}^n x_j y_j \right)^2 \leq \left(\sum_{j=1}^n x_j^2 \right) \left(\sum_{j=1}^n y_j^2 \right)$$

が成り立つことを示せ.

(解) 与えられたデータを用いて, n 次元ベクトル $\mathbf{x} = (x_1, x_2, \dots, x_n)^T$, $\mathbf{y} = (y_1, y_2, \dots, y_n)^T$ を定義する.

$$\mathbf{x} \cdot \mathbf{y} = \sum_{j=1}^n x_j y_j, \quad |\mathbf{x}|^2 = \mathbf{x} \cdot \mathbf{x} = \sum_{j=1}^n x_j^2, \quad |\mathbf{y}|^2 = \sum_{j=1}^n y_j^2$$

より, 任意の n 次元ベクトル \mathbf{x} , \mathbf{y} に対して

$$(\mathbf{x} \cdot \mathbf{y})^2 \leq |\mathbf{x}|^2 |\mathbf{y}|^2 \tag{E}$$

が成り立つことを示せば良い. すべての実数 t に対して

$$0 \leq |\mathbf{x} + t\mathbf{y}|^2 = (\mathbf{x} + t\mathbf{y}) \cdot (\mathbf{x} + t\mathbf{y}) = \mathbf{x} \cdot \mathbf{x} + 2t\mathbf{x} \cdot \mathbf{y} + t^2 \mathbf{y} \cdot \mathbf{y} = |\mathbf{x}|^2 + 2t\mathbf{x} \cdot \mathbf{y} + t^2 |\mathbf{y}|^2$$

が成り立つので, $|\mathbf{y}| > 0$ のときには

$$(\mathbf{x} \cdot \mathbf{y})^2 - |\mathbf{x}|^2 |\mathbf{y}|^2 \leq 0$$

でなければならない, つまり, 関係式 (E) が成り立つ. また, $|\mathbf{y}| = 0$ のときには, すべての j に対して $y_j = 0$ である, つまり, $\mathbf{y} = \mathbf{0}$ であるから, $\mathbf{x} \cdot \mathbf{y} = 0$ より (E) の左辺, 右辺共に 0 となるので, 不等式 (E) は成り立つ. 以上から, 任意の n 次元ベクトル \mathbf{x} , \mathbf{y} に対して不等式 (E) が成り立つ. ■